

3. 令和2年度 活動方針と事業計画

1. 活動の経過

近年、技術革新、国際化、情報化、少子高齢化等により産業教育を取り巻く社会の状況は大きく変わり、厳しい状況にあります。この変化に対応するために、産業教育の改善充実が強く要求されています。このためにこの一年は産学連携をさらに強くしていく手段として、連絡手段を主としてメールを使い、迅速に安価に関連機関との連携を図るようにしました。また、本会のホームページを立ち上げ、関連学校のホームページとリンクさせ、企業会員様の名簿登載と、企業バナー広告の掲載、頑張る高校生の紹介などを積極的に掲載してまいりました。スマホ対応とし、少しでも若者に関心を持ってもらう努力も致しました。生徒研究発表会では入交太兵衛大賞を新設しトロフィーを準備するなど、従来の取り組みの強化と新しい取り組みを融合させ、産学連携強化に努めました。産振特別協議会の活動は十分ではなく、教育長への提案もできなかった。次年度は各部会の提案ではなく、産業教育発展に関する総括的な提案が必要である。全体会員様への取り組みの連絡が十分できず、大きな成果は得られませんでした。令和元年度の新会員様は企業で9社、個人では3名が加入していただきました。令和2年度予算に反映してまいりたいと思っています。ありがとうございました。

2. 事業計画

(1) 活動方針

- ① 県教委及び各高校・団体等が行う産業教育関連事業に積極的に協力します。
- ② ホームページを通して産業経済界と、産業教育界の緊密な連携を図り、産学一体となった事業を推進します。
- ③ 会員増に努め、充実した事業の運営を目指します。

(2) 事業内容

(1) 産学連携・協力の推進

産業界や産振中央会の実施事業に積極的に参加します。

- (2) 総会や功労者表彰を通して、産業界会員と学校会員の交流を進める。
- (3) 教員・生徒研修活動の奨励中央会の実地研修会、高産振の研修会等の助成。
- (4) 生徒技術競技会・生徒研究発表会への助成。
- (5) 学校クラブ等への助成
- (6) 教員・生徒の表彰
 - ・産業教育功労者表彰
 - ・優良卒業生の選奨
 - ・入交太兵衛大賞・記念賞の授与
- (7) 産振特別協議会の活用。
- (8) 各種大会、研修会等への後援活動。
- (9) その他産業教育振興のための諸活動。